

5月連休中の1日をレッスンに励む！

5月4日

□5月1日のメーデー、3日「安倍9条改憲許さない！総がかり集会」等全国各地で開催され、大阪でも扇町公園にうたごえの仲間も参加しました。はからずもそのゴールデンウィークの連休中の5月4日(金) 18:00~20:30 昇定例レッスンが開催されました。佃さんの体操と吉岡さんのリードで「滑舌の訓練」、千秋さんのヴォイストレーニングのあと、伊藤副指揮者の指揮で、「無縁坂」「浜辺のうた」「未来をかけて」を、休憩をはさんで、「君死にたまふことなかれ」「町」をレッスンしました。ピアノ伴奏は西應 静さん。参加者は全31名でした。



(投稿) 晴れた5月 第89回大阪メーデー盛り上げる！

大阪のうたごえ協議会 岡邑洋介

5月1日、第89回目を迎えた大阪メーデーが府下各地で1万人を集め行なわれました。扇町公園には4500人が参加し、「安倍内閣はいますぐ退陣せよ」「戦争する国づくり反対」「大阪にカジノはいらない」など訴えました。

大阪のうたごえ協議会は35人ほどが参加「晴れた5月」を皮切りに、オープニングと送り出しの役割を務め、最後の「がんばろう」では参加者のみなさんと一緒に拳を突き上げ、大阪メーデーを盛り上げました。

高橋正志さん急逝

メーデー終了後、元日本のうたごえ全国協議会会長で「うたごえは生きる力」を出版された高橋正志さんを招いての「うたごえの歴史を学ぶ」と歌う会が行なわれる予定でした。ところが集会の直前、



高橋さんが倒れたの連絡があり、歌う会が始まって10分後には亡くなられたとの報せがはいりました。

集会にはすでに50人ほどが集まられていましたが急遽、高橋さんを追悼する集会に切り替えられました。集会は、大阪では高橋さんに最も近い関係にあり、昴などの指揮者をされている本並美德さんが高橋さんを偲びつつ約40分にわたり、うたごえの歴史を語られました。

集会は、最後に「花をおくろう」など3曲を参加者全員で高橋さんに捧げました。

「君死にたまふことなかれ」ー口レッスンメモ(過去まとめ)2018.5.4 現在

この曲の「心情をいかに表現するか？」

「心情」とは「心におもっていることを情け(なさけ)として表現すること」

・最初のBS・BRの「Oh--」:

この曲の雰囲気予測させて「Oh--」を出す。(ハ長調の下の”ド“の高さ)

出だし神妙に待ち構えて、ピアノが出たらすぐに！ppではっきりと！

クレッシェンドでfへ、テナーが出るまでがんばって音量上げて長めに、テナーへ音を渡す。

⑨09~16 小節(Uh---Ah---):「Uh--」「Ah--」バックコーラスきれいに音をあわせて、ソロを引き立てて！

p,cresc. mf,f,fp(フォルテ・ピアノ)の確認。

「Uh--」「Ah--」・最初のソロのバックを印象的に！:美しい声で「Uh--」「Ah--」を！(ソロを引き立てるように美しい「Uh--」「Ah--」を出して欲しい。全曲を通じての各パートの「Uh--」「Ah--」もSfも気をつけて、美しく出して欲しい。

最初からmfでない！pで入る。11小節~mp、クレッシェンドへ、12小節デクレッシェンドへ、13小節と14小節の最初の「Uh」fp(フォルテピアノ)で、アタックした音で！15小節「Ah--」mpで入ってクレッシェンド、16小節「Ah--」でmfとしっかりとした音を出す。

・9小節~「Uh--」音量もっと落として！ソロの声がよく聞こえるように！特にソロの音が低くなっているところ(10小節「きみなれば」の「な」)は「Uh-」(T2:ソ、BR・BS:ミ)抑えて出さないと聞こえない。1:40だということを考えて、「一人一人が抑え気味にして、しかし、しっかりと出して欲しい。」

⑩20~37 小節:「さかいのまちの あきびとの きゅうかをほこる あるじにて ~」: BS・BRの聴かせどころ！

「さーかーいーのまーちの あーきびーとの~」:ことばをはずませないで、淡々と歌う。「さかい」「まち」「あきびと」「あるじ」それぞれのことばの一言一言がはっきりと聞きとれるように！何を言っているのか分からないのでは困る。

もっと魅力のある声の出し方で、縦の声で！もう少し「知的な声で」、「大人の男の声で！」べたっとした声は聴いていて面白くない！「Sa」「Ka」「Ma」「Aki」すべて母音「a」縦に出して欲しい！（発声の基本）

・12/8 拍子の曲:4部音符と8分音符の間の響きが小さくなるのは困る！「さー」4分・「か」8分・「いー」4分・「の」8分:お腹で母音を押し続ける。「さあかいいのまあちのおお ああきびいとのおおお」:ことばが弾んで聴こえては駄目！切って歌わないで、延ばして歌う！遅れるな！

・「旧家を誇るあるじにてー」:クレッシェンドしていく、ことばははっきりと！

- 「きゅうか」の「か」は小さく！「ほこる」はクレッシェンドで！ゆるめない！「る」：引っ込めないで大きく！
- 「あるじにて」：BR・BS「あーる」は大きく、「じ」は小さく添えて、「にて」は「てーー」を小さく、6拍延ばして！
デクレッシェンドで、
- 24小節「おやのなをつぐきみなればー」：BR「きいみなあればああああ」：音程正しく「シシシミレー#ドー」、
「ばーあー」：「あー」次の言葉の寸前まで切らないで延ばす！「あー」の音は小さく！添えるように！
- 26小節「きみ死にたもうことなかれ」：クレッシェンドからmfへ ことばしっかりと、はっきりと！
- 「いえのおきてに」：fでしっかりと「の」と「お」切とうたう。

•T1・T2 28小節「りよじゅんのしろは ほろぶともー〜」：声の調子が甘すぎる！もっと言葉の一言一言を厳しい雰囲気表現せよ！「りよじゅん」はしっかりと！「ほろぶとも」を攻める感覚で！強く出す。甘くならないで！（旅順の城壁が戦の攻防で滅びるとはどういう場面か？）**子音の切れを良く！顔で歌ってほしい！（表情を声に出して！）次の小節に意識をつないで！**

•「ほろびずともなにごとぞ」：もっと丁寧に出して！（我知らず！では困る）「なにごとぞ」しっかりと！

•「きみはしらじな あきびとの いえのおきてに なかりけりー」：mfクレッシェンド fへ

T2:「きみは」の「は」より「しらじな」の「し」をはっきりと！「しらじな」と「なかりけり」で甘くなるな！詰めていく感じが欲しい！「なかりけり」の「な」は「uNa」ではっきりと。

（旅順 203 高地で日本兵 2 万人が死んだ歴史の現実、その真ただ中で闘っている弟に、殺し合いの戦で「何があっても命は落とすな」と歌っている与謝野晶子）

34～37小節 ソロ「Uhー」「Ahー」：ひらがなの「うー」「あー」でなく、ローマ字？の「Uhー」「Ahー」で発声して、響かせて！レガートで

◎40小節～53小節「きみしにたもうことなかれー」：mpで抑え気味に出て、母音抑えて、子音を出して！

4パート一斉に揃って入る。静かに入っていく。大人の声で！縦の声で！

•12/8拍子：4分音符1つを8分音符2つとして、「タタタ/タタタ/タタタ/タタタ」で、3つ目の「タ」の拍が遅くなる。

3つ目の拍は次の拍に繋がる音、短めに発音して遅れずに繋いで行く。

「きいみ/しいに/たあも/ううう/こおと/なあか/れええ/」：3つ目の音を大切に、「み」「に」「も」も子音を先入して遅れずに歌うこと！やや短めの感覚で！

•44小節～BR・BS「おおお/みいず/かあら/はああ」も同じ！

•45小節 T2:「いでまさね」：mfだが、あまり強くなく、音量少し落として、「歌い方・声の出し方・表現のしかた」をぞんざいにしないで！（「ぞんざい」：なげやりで、いいかげんなものの言い方）

•46小節～BR:「かたみに ひとの 血一をな一がし 血をながし Uh—— UhUhUh」：しっかり声出して！（3拍目4拍目）の音しっかり出すこと大事！ mpからクレッシェンドしてmfへ、「かたみに」はまだ音量抑え気味に、しかしはっきりと！「ひとのちをながし～」でmf:はっきりと！

BR 47小節:「血一をな一がし 血をながし」：2回目の「血をながし」は最初の「血をながし」に続くエコーだから、音量は大きく言わない！しかしはっきりと！パーンと聞こえてこないように。「血を」の「を」を強く言わないで添え

るだけ、決然とした声で！一字一字「血をながし」と。

⑤4小節「ああおとうとよ たたかいに」～66小節

- 出だし：歌い方は◎と同じでよい。3拍目・4拍目を押し気味に、甘くならない！低音部62小節「いたましくー」「いえをもりーおおみよも」：しっかり音揃えて歌うこと！「おおみよも」：一つずつはっきり出して、大きくしていく！
- 54～61小節「ああおとうとよ たたかいに～ おくれたまえるははぎみは～」は低音部が主旋律を歌う大切なところ！しっかりと響かせてほしい！
- BS:54小節～「ああおとうとよ たたかいにー」：縦の声で、しっかりとした声で！
「たたかい」「君死にたもうことなかれ」：しっかりと、切々とした感じを出して！
- T1/T2/BR:54～55小節「Uh——」：PP *sempre* BR:高い音を効果的に、音程をはずさずに！
- 58小節～「すぎにしあきを～」：mpになっているが、大き目でしっかりと音出して欲しい。
- BR「ちちぎみにー」：シシシミレー#ド 音程正しく！「にーイ」の「イ」大きく言わないで添える感じで。
- 62小節～テナーソロ：「なげきのなかにいたましく～」のバックコーラスが大事なところ！ソロを引き出して、よく響かせてハモってほしい。
- 「いたましくー」「いえを守りー」：各パート正しいテンポで！合わせて！「いたましく」の合いの手・「痛ましい母の気持ち」を切々とした表現で、本当に痛ましい感じを声に出す！

⑥7～71小節「Ahー」「Uhー」「嘆きの感じ」を表現する。嘆きの心を「Ahー」「Uhー」で表現する。

各パート、正しい音程と長さで覚えてしまうこと。mf/f・クレッシェンド・デクレッシェンド確認！

⑦ 72小節～転調：「のれんのかげにーふしてなくー」～91小節：

- 「のれん」の「の」：piu f(より強く!)「のれん」のことばしっかりと出す。Poco piu mosso:「やや、すぐにいままでよりも速く」速く歌うがあわてない！テンポ合わせること、指揮よく見て！（テンポがずれたら台無し！）
- 「伏して泣く」：しっかり音量出して、「ふー」はまっすぐに、えぐった「ふうう」ではない。
- 「あえかにわかきにいづまを」：小さく出して、盛り上げてディクレッシェンドへ、響く声でしっかり出す。（「あえかに若き」の「あえかに」とは、「いかにも弱々しく繊細な」という意味）
- 「きみわするるやおもえるやー」から f で、以後 f で盛り上げていく。BR「おもえるやーア」：(シシシミレー#ド)音程確保。「やーア」をきれいな声で、「ア」を大きくしないで添える感じで！
- 80小節～BR「Uh—— おもいみよーお きみならで——」：しっかり合わせて！T1「おとめごころを おもい」につづいて、「^{1拍づつ}おもいみよー(6拍)おー(3拍)^{1拍}きみならでー(6拍)」：もって自信をもって「よー」：fp、「きみならでー」でmfからクレッシェンド！「たーのむべき」へ！強く！おもいきり歌え！
- 83小節～「きみしにたもうことなかれ」：「きーみしーにたーもう～」の言葉の表現：突き放さないで！心をこめて「死なないで！」の気持ちが伝わるようにことばで表現する。

(注)11回コンサートに向けて以来、昨年からのレッスンが続いている「君死にたまふことなかれ」

これまでの「一口レッスンメモ」に5月4日のレッスン分を加えて再掲しました。見にくい「メモ」になっていますが、ご容赦願います。レッスンの参考になれば幸いです。(広報部)

(参考資料)

「未来をかけて」 【作詞・作曲】 斎藤 清巳

つらい差別は 俺たちだけじゃない	差別されるより 苦しい人がいる
こみあげる怒りは 俺たちだけじゃない	友よ仲間よ 苦しみ分け合おう
未来を 未来を はばむものを許さない	未来を 未来を はばむものを許さない
	※繰り返し
※日本中の働く仲間と 手を取り合って	※繰り返し
俺たちは 未来をかけて闘い続けよう	
	闘い続けよう

(1997.7.27 斎藤清巳)

1989年10月10日、第31回国鉄のうたごえ祭典 in 福井の中で、上演された合唱構成劇「さらし者のブルース」。1人の国鉄労働者の苦悩と立ち直り、それを励ます国労組合員の姿を、歌と踊り、芝居でコミカルに構成しました。全7曲中6曲を、国鉄福井合唱団「きっぷす」が創作。満員の観客に大きな感動を与えました。この曲はその中の1曲で、脚本担当者より、「明るく力強い、フィナーレにふさわしい曲を」との要請に応じて創った作品です。

やがて国鉄のうたごえが取り上げ、さらには枠をこえて全国の働く仲間にも歌われるようになりました。思ってもいなかったことです。考えてみれば、今の日本、いたるところに差別がまかり通っているんですよ。この世に存在するすべての差別と不平等がなくなる日が来ることを願ってやみません。

斎藤清巳 作詞作曲 (※うたごえ新聞 2012年9月17日号歌の小箱 NO.299 より)

「つらい差別はオレたちだけじゃない…。1989年、第31回国鉄のうたごえ祭典(福井)の音楽構成劇「さらし者のブルース」の中の1曲。

構成劇は、国鉄労働組合を脱退しJRに採用された主人公が、出向命令に悩むが、差別されながらも闘い続ける先輩たちに励まされ、国労に戻る姿を描いた。

開催地の国鉄福井合唱団きっぷすは、会員10人で、祭典参加を呼びかける演奏普及活動は70回を数え、福井のうたごえ協議会のサポートもあり、大音楽会は1400人の参加となった。

初演当時、教職員のうたごえ会員から「私たちが本当に守っていかねばならない子どもたちの命と未来のために真実を突き闘っていく大切さを教えられた」の感想が紹介されるなど、職場の枠を越えて歌い継がれている

愛と平和の歌イノテノール千秋昌弘啄木を歌う ピアノ森二三

二〇一八関西啄木祭 国労会館3F大会議室(JR天満歩5分) 2018年6月24日(日)pm1:30-4:30

講演:田中礼「啄木と現代」・報告「啄木百首選」・歌唱:啄木短歌から「千秋昌弘」

曲名	作詞	作曲	短歌
1 初恋	石川啄木	越谷達之助	砂山の砂にはらばい初恋のいたみを遠くおもい出する日
2 いのちなき	石川啄木	高田三郎	命なき砂のかなしきよさらさらと撒れば指のあいだより落つ
3 不來方の(こずかたの)	石川啄木	高田三郎	不來方(こずかた)のお城の草に棲ころびて空に吸われし十五のころ
4 口笛	石川啄木	越谷達之助	夜寝ても口笛吹きぬ口笛は十五の我の歌にしありけり
5 はたらけど	石川啄木	清瀬保二	はたらけどはたらけど猶わが生活楽にならざりちつと手を見る
6 ふるさとの山に向ひて	石川啄木	新井満	ふるさとの山に向ひて言うことなし ふるさとの山はありがたきかな やはらかに柳あをめる北上の岸辺目に見ゆ泣けとごとくにかにかくに浪民村は恋しかりおもひでの山おもひでの川 ふるさとの麓なつかし停車場の人ごみの中にそを聴きにゆく